

能登半島地震災害支援事業報告書
珠洲市内学校給食用食器購入支援 事業報告

作成日：2026 年 6 月 21 日 金沢キワニスクラブ 会長 松崎充意

1. 事業名

珠洲市内学校給食用食器購入支援事業

2. 経緯

・被災による課題：

2024 年 1 月 1 日の能登半島地震の発生後、珠洲市内の学校は避難所として活用されました。その際、避難者が給食用トレイ等を使用したことに伴い、紛失や黄ばみ・汚れといった食器の著しい劣化が発生いたしました。学校再開後も、子どもたちは劣化した食器をそのまま使い続けざるを得ない状況が続いておりました。

・支援の契機：

このような状況下、2025 年 12 月に珠洲市教育委員会より「子どもたちに新しい綺麗な食器で給食を食べさせたい」という強い願いとともに、新しい食器の購入費用支援について正式なご要望をいただき、当クラブとして支援を決定いたしました。

3. 支援内容

- ・対象学校： 珠洲市内 全 11 校
- ・支援内容： 学校給食用食器一式の購入費用支援
- ・支援総額： 3,466,870 円
- ・納入時期： 2026 年 3 月（完了済）

4. 目録贈呈式

- ・日時： 2026 年 4 月 20 日（月） 14:00 ～ 14:30
- ・場所： 珠洲市役所 市長室
- ・出席者： 珠洲市： 泉谷満寿裕 市長、吉木光弘 教育長
金沢キワニスクラブ： 松崎充意 会長、南 信廣 理事

・面談内容：

泉谷市長より、日本国内および世界各地のキワニスメンバーから寄せられた温かい善意に対し、心からの深い感謝のお言葉を頂戴いたしました。また、現地は今なお復興の半ばであることから、今後とも継続的な子どもたちへの支援について、重ねてご要望をいただきました。

【金沢キワニスクラブより全国のキワニスメンバーの皆様へのお願い】

本事業は、国内および世界各地のキワニスメンバーの皆様からの多大なご支援により無事に完了することができました。心より御礼申し上げます。

発災後、2 年以上が経過いたしました。被災地での復旧・復興はまだまだ道半ばの状況にあります。子どもたちが安心して健やかに過ごせる日常を取り戻すまでには、今後も長い時間と支援が必要です。

全国のメンバーの皆様におかれましては、現地が置かれている現状を日ごろから気にかけていただき、引き続き温かいご関心と息の長いご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



左から、南理事、松崎会長、泉谷市長、吉木教育長



新しく購入した給食用食器